

インド共和国から防災行政関係者をお招きして

～インド北東州減災・防災能力強化支援～

- 独立行政法人 国際協力機構（JICA）が実施するプロジェクトの一環として、インド共和国より各州の災害管理局職員ら13名が、日本の砂防事業の考え方や土砂災害に係る構造物対策について理解を深めるため、六甲砂防事務所を来訪されました。
- 講義では【六甲山系での過去の土砂災害と砂防事業の取り組み】について説明を行い、現地視察では天井川の【住吉川】、透過型堰堤の【荒神山西堰堤】、スリット型堰堤の【杣谷堰堤】を案内し、砂防堰堤の構造などについて学んでいただきました。

概要

日時：令和8年5月15日（金）9：00～12：30

場所：講義>六甲砂防事務所／現地視察>住吉川、荒神山西堰堤（東灘区住吉山手地区）、杣谷堰堤（灘区大石長峰山地区）

主催：独立行政法人 国際協力機構（JICA）

参加者数：インド共和国研修員13名



～研修員の方々からたくさんの質問がありました～

- ・大災害後、迅速に施設整備を進め効果をあげていることに感銘を受けた。それができた理由や日本の行政システムについて知りたい。
- ・砂防堰堤の建設費用は？
- ・砂防堰堤に堆積した土砂の処分は誰が行っているのか？また処分の方法は？
- ・堰堤の格子間隔はどのように決めているのか？ など

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535
六甲砂防事務所ホームページ <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

